

夜久野高原花畑「朝来四季彩の丘」整備事業 (調査対象箇所:朝来市和田山町宮)

兵庫県朝来市

調査対象事業の概要／施設の概要

【調査対象事業の概要】

- ・本事業では、朝来市が都市と農山村の交流活動の促進のために整備・管理している「朝来四季彩の丘(夜久野高原花畑)」について、地域住民・ボランティア団体との協働、ならびに民間活力の導入により、農業生産基盤と販売施設・交流施設等の農村振興環境を整備する。
- ・整備対象(案):花畑・遊歩道、休憩所、スポットガーデン、展望デッキ、トイレ、管理棟、直売所、駐車場、森林環境整備(例:キャンプ場等民間提案)、体験農園、アクセス道路、集出荷施設

【施設の概要】

- ・「朝来市夜久野高原開発構想」のもと、「景観と農業を活かした持続可能な地域づくり」をめざして、農地中間管理機構関連農地整備事業地内の非農用地(市有地:旧営林署跡地)において、地元ボランティアによる花を活かした景観の整備・管理活動を行い、試験的に開園。

検討経緯等

【令和5年度】

- ・朝来市において「夜久野高原開発構想検討会」を設置。
- ・当該地域の活性化に向け、計画の一部である市有地の有効活用に向けて、駐車場の整備や管理棟、直売所などの整備内容を検討。

【令和6年度】

- ・内閣府PPP/PFI専門家派遣制度を活用し、PFI制度の活用に向けて検討。

調査の検討内容

【事業化に向けて解決すべき課題／検討すべき内容】

○通年利用の見込める施設計画

- ・特に冬場などの花のない時期など、LEDによる光の花畑を設置し集客が見込める施設として計画しているが、運営が可能であるのか、民間事業者のノウハウ発揮により、魅力ある施設の実現可能性を検討したい。

○市の農業振興に資するアイデアの提案

- ・周辺農地は畑地の再整備により大区画され、若手の担い手も複数入り農産物の生産を行い始めているところであるため、これから地域の農業振興に寄与できるアイデアの提案を募集したい。

○事業化手法の検討

- ・民間提案による事業参加の可能性が高い事業手法について提案を募集したい。

設置目的

都市と農山村の交流促進

事業化に向けて解決すべき課題

- 通年利用の見込める施設計画
- 市の農業振興に資するアイデア提案
- 事業化手法の提案

検討すべき内容

民間活力の導入／市民参画

達成目標

- 四季を通じた魅力ある施設の実現
- 効率的な農振施設の整備・運営
- 民間参入が見込める事業手法選択

地域の経済・社会にメリットをもたらすことを示す指標の検討

【これまでの検討状況】

- ・施設への市外からの来訪者数: 約1万人(R6春) → 約10万人/年(目標)
- ・農産物の販売額: 14,000千円 → 20,000千円(目標)
- ・施設運営スタッフに占める地域雇用者数: 1人 → 6人(目標)

【今後の検討予定】

- ・地域愛着度、ロイヤリティ
- ・ソーシャル・キャピタル
- ・地域幸福度(Well-Being)指標

事業費

800,000千円
(うち、補助金400,000千円)

夜久野高原花畑「朝来四季彩の丘」整備事業 (調査対象箇所:朝来市和田山町宮)

兵庫県朝来市

事業／施設の位置図

【施設の位置図】



【現況の写真】



検討の成果及び調査実施後のスケジュール

【調査検討の成果として期待される事項】

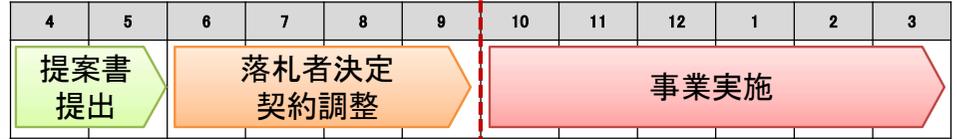
- 最適な事業スキームの選定(事業範囲、事業手法、リスク分担、等)
- 民間事業者の参入可能性の把握・創出
- 農業振興・地域住民の参画による地域活性化効果の把握

【調査実施後の事業スケジュール】

○令和8年度 ※アドバイザー業務発注

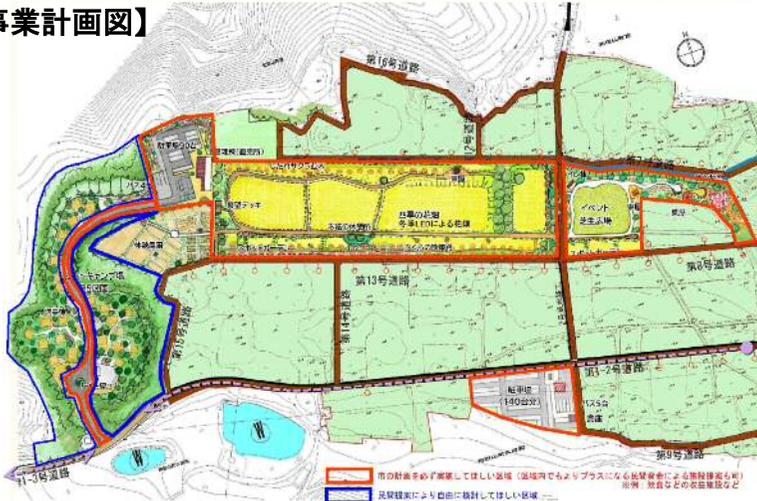


○令和9年度



事業計画／検討内容に係る図表

【事業計画図】



【スキーム図】

※想定
事業手法について提案募集

